

競技者注意事項

- 1 本競技会は2018年度公益財団法人日本陸上競技連盟規則、及び本大会規則により実施する。
- 2 練習は、下記の時間は本競技場を使用してよい。
7月14日 13時00分～17時00分 7月15～16日 7時00分～8時30分
公開練習時の使用要領は別に定める。
屋外練習場および雨天練習場は、開門時刻から使用してよい。当日朝の練習は上記の時間帯とするが、砲丸やジャベリックボールを使った投てき練習はできない。(投てき練習場はない)
競技開始後、バックストレートなど競技場内での練習は一切できない。
- 3 競技者招集について
 - (1)招集場所は、第4コーナー入口付近に設ける。
 - (2)競技開始時刻および招集完了時刻は、すべてプログラム2ページの記載とおりとす。
 - (3)招集方法
 - ア. 競技者または代理人は、トラック競技は競技開始時刻30分前、フィールド種目は競技開始時刻40分前までに競技者招集所付近掲示板の出場競技者一覧表にチェックをする。(○で囲む)
 - イ. リレー競技者は、オーダーの提出をもってチェックする。
 - ウ. リレー競技は、招集完了時刻の1時間前までにオーダーを提出する。(遅れた場合は失格とする)
 - エ. 競技者は、出場種目の招集開始時刻には招集所に集合する。プログラム記載の招集開始時刻より点呼を始め、招集終了時刻には各競技場所への移動を開始する。
 - オ. 招集場所での点呼に不在だった競技者については、当該種目を棄権したものとみなし処理する。
 - カ. 同時刻に種目が重なる競技者は、召集時刻にその旨を競技者係に申し出て、指示を受ける。
- 4 ナンバーカードについて
 - (1)ナンバーカードは交付された大きさのまま使用し、ユニフォームの胸背に確実につけること。
ただし、跳躍競技については、胸・背いずれかでよい。
 - (2)トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツ右側後方に付けること。
リレー競技については、第4走者のみ腰ナンバーカードをつけること。
- 5 競技場への入退場について
 - (1)競技場への入場は、係員の誘導に従うこと。競技者以外は競技場へ立ち入ることはできない。
 - (2)トラック競技出場者は、競技終了後、腰ナンバーカードを返却し、ゴール付近ゲートより退場する。
荷物は各自が取りに行く。
 - (3)フィールド競技出場者の退場については、当該競技役員・場内指令の指示に従うこと。
- 6 走路順・試技順について
 - (1)トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載とおりとす。
 - (2)準決勝以降のトラック競技の組み合わせ、及び走路順は、番組編成員により厳正に抽選し決定する。
- 7 走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。ただし、天候等により審判長の指示で変更もある。

	練習	1回目の高さおよびバーの上げ方
5年男子	90cm	95cm～以上 5cm きざみ 1m20～以上 3cm きざみ
6年男子	95cm	1m～以上 5cm きざみ 1m30～以上 3cm きざみ
5年女子	90cm	95cm～以上 5cm きざみ 1m20～以上 3cm きざみ
6年女子	90cm	95cm～以上 5cm きざみ 1m30～以上 3cm きざみ

- 8 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。
- 9 各種目の8位までの入賞者は表彰を行うので、係員の指示により表彰場所へ移動する。
- 10 ケガや体調不良に関しては、応急処置のみ大会主催者が行う。
- 11 競技場の使用について
 - (1)テントの設置は15日(日)、16日(祝)の開門(7時)以降とする。前日からの設置や場所取りは一切できない。1日目終了後には必ず撤去する。メインスタンド・競技場外の芝への設置はしない。
なお、テントについては、14日・15日(両日とも15:30～)は、競技場でお預かりすることはできる。必ずチーム名を明記すること。
 - (2)ゴミの処理については、すべて持ち帰りとなる。競技場周辺に放置しないようにしていただく。
 - (3)弁当などのアナウンスでの呼出はしない。
- 12 貴重品の管理は、各自またはチームごとに責任を持って行うこととする。紛失物等については、競技会中は大会本部で管理し、それ以降は競技場事務所が取り扱う。